

第8回新居浜市レジ袋削減推進協議会議事録

- 1 開催日時 平成23年10月20日(木) 14:00~15:40
- 2 開催場所 新居浜市役所本庁舎5階大会議室
- 3 出席者
(新居浜市) 会長 曾我(環境部長)
事務局 藤田(環境部総括次長)、本田(ごみ減量課長)
中西(ごみ減量課副課長)、近藤(ごみ減量課)
(スーパー) (株)木村チェーン、コープえひめ、イオンリテール(株)
(株)フジ、マックスバリュ西日本(株)、(株)ママイ
(市民団体等) にいはま環境市民会議、にいはま消費者友の会
新居浜商工会議所
- 4 欠席者
(スーパー) (株)マルナカ、(株)マルヨシセンター
(ドラッグストア) レディ薬局(株)、(株)大屋マック
(ホームセンター) ダイキ(株)
(市民団体等) 新居浜市女性連合協議会、グループさつき生活学校
- 5 報道関係
1社(愛媛新聞)

6 内 容

(事務局)

みなさんこんにちは、定刻が参りましたので、ただ今から第8回新居浜市レジ袋削減推進協議会を開催いたします。

まず初めに、本日の出席状況ですが、欠席が、マルナカさん、マルヨシセンターさん、ドラッグストアのレディ薬局さん、マックさん、ホームセンターのダイキさん、新居浜市女性連合協議会さんとなっております。

また、本協議会は公開を原則に開催いたしております。

それでは、以下議事は会長にお願いします。

(会長)

みなさんこんにちは。環境部曾我です。

本日は大変お忙しい中、遠方より、また多数ご出席頂きましてありがとうございます。まず初めに、新居浜市地球高温化対策地域協議会が10月の3日から7日まで、レジ袋

無料配布中止にご協力いただいている6事業者さんに加えまして、マルナカさん、マルヨシセンターさんを含めて合計26店舗でマイバッグ持参推進キャンペーンを実施しました。その結果を資料としてお渡しさせていただいております。これにつきましては、市民団体、企業、自治会の皆さんなどと一緒に啓発用のティッシュを配布して、マイバッグの持参を呼び掛けさせていただきました。事業者さんにつきましてもご協力大変ありがとうございました。その際に、マイバッグを持参いただいているお客さんをカウントいたしまして、キャンペーンの時間帯約1時間のマイバッグ持参率を併せて算出させていただきました。レジ袋の無料配布中止にご協力いただいている店舗につきましては、大変高い持参率となっております。平成24年度につきましても、同協議会におきまして10月の環境月間に「マイバッグの持参推進キャンペーン」を継続する方向で検討いただいております。そちらのキャンペーンと併せて効果が上がるような方法を本協議会で検討してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

それでは会次第に従いまして、1番目の「平成23年度レジ袋削減活動報告」につきまして、事務局から報告させていただきます。

(事務局)

活動報告について説明

(会長)

それでは、23年度の活動報告等につきましてご質問等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。特にないようでしたら次に進ませていただけたらと思います。

次第では、2番目に「平成24年度のレジ袋無料配布中止キャンペーン活動」ということにしておりましたが、事業者様から事前にご意見も頂いておりまして、会次第の裏面に「意見交換議題」ということで2点ほどございますが、先にこちらの「レジ袋販売代金からの寄附に関する広報について」と「レジ袋無料配布中止協定の見直しについて」を協議させていただけたらと思いますが、それでよろしいでしょうか。

承認を得る

それでは、先に意見交換の方を進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

今回、地球高温化対策地域協議会のキャンペーンに私も参加させていただきました。市長も参加させていただき26店舗さんを回らせていただいたのですが、先ほども申しましたように、本当にマイバッグを持参いただいている市民の方がたくさんおられまして、浸透していることを実感いたしました。市民団体や企業の皆さんも同じように感じておられました。参加いただいた6事業者さん他、市民の皆さんのご協力というのがや

はり大切であって、市としても現場を見て、現場の声を伺って今後も活動してまいりたいと考えております。

環境保全基金への寄附につきましても寄附に固執するものではございませんので、協定の中にも「環境保全活動への活用」ということで項目を上げさせていただいておりますので、各事業者さんのそれぞれの活用方法を教えていただけたらと思います。そして、それらの内容を市民のみなさんへお知らせして行きたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。まず、1番目の寄附ということではないのですけれども、環境保全活動への活用というようなことでそれぞれの事業者さんの現状をお教ひいただけたらと思ひますが。

(木村チェーン)

寄附に関するてのことですね。

(会長)

寄附には固執しないのですけれど、環境保全活動にレジ袋での収益と言ひますか、レジ袋の販売代金をどのように活用しているか、というようなことで現状をお話しいたければありがたいです。

(木村チェーン)

後の意見交換のときにお話ししようと思ひていたのですが、関連するので先にお話しさせていただきたいと思ひます。昨年の7月5日からなるのですが、協定書の中の有料化ということにつきまして、私どもの従業員を含めましてかなり疑問が生まれまして、有料化ということと、お客さまからお金をいただくということについてちょっと意味合ひを変えてみて、お客さまがお持ち帰りになるレジ袋をお客さまの善意で、寄附という形で、基本的には1円以上という形でお客さまにお願ひをした店舗が川東店になります。その推移と状況につきましては、募金と私たちは言っておりますが、当初はレジ袋削減対策の基金ということで新居浜市へお届けすることになっていたのですが、関東・東北で地震が発生し、4月の時点で全額そちらの方に寄付させていただきました。今回の地震被害への寄附につきましては、24時間テレビを通じて寄附をしようということで、当社の方は発生翌日の3月12日から募金活動を始めまして、4月の4日でしたか5日でしたか南海放送の方へ1回目としてお届けいたしました。その時に、レジ袋でお客さまから頂いたお金を併せてお届けいたしました。

我々の活動の中で「レジ袋の有料化」ということがどうなのか、お客さまのご意見も含めまして川東店で1店舗取り組ませていただいたのですが、昨年の6月に社内でそういう問題点を提議いたしまして、7月の5日から試しに川東店でやってみる、ということとで取り組ませていただきました。その結果が、7月の5日から始めて9月までは87%

という数字を保てました。ただし、10月から4ポイントほど下がりました。現状では最高85%から82%の間で推移しているところです。今回、後の意見交換会でも色々とお話を伺っていただこうと考えていたのですが、先に募金の話がありましたので今お話しさせていただいております。当社の方では、この7月から全店舗で川東店のような取扱いにしたい、ということをお願いしようと思っていたのですが、この協議会があるということで、今年の体制のままやってまいりました。来月早々に全店舗、川東店のような取扱いにしたいと考えております。理由といたしましては、数字をお話ししたように、新居浜市民の皆さんにマイバッグの持参がかなり浸透していて、一時的に4ポイントほど下がりはいたしましたが、月によっては85%という数字を捉えております。ということは、我々食品スーパーとして本来サービスの一環であるものが有料という形はどうなのか、という部分。やはり現場ではお客さまの声をかなり吸収しておりまして、今後の活動といたしましては、絶えずマイバッグ運動については、お客さまに投げ掛けて行く、という体制を保ちつつ環境保全活動への寄附としていただくという形を取らせていただきたいというように考えております。

(コープえひめ)

環境保全に関する様々な取り組みをトータルで考えておりまして、お店ですと環境配慮商品の普及に関する事、また、環境月間ということで、コープの組合員さんを巻き込んで家庭の電気の使用量を減らすような取り組み等の推進活動、それと自然観察会等の体験型の環境学習などにトータルとして使用させていただいております。

(フジ)

基本的には新居浜市の方へ寄附という形で活用しておりますが、一部、店頭回収でトレイの回収をしているのですが、発泡スチロールに加えまして、プラスチックのトレイの回収も開始いたしまして、そのことにかかる費用として活用させていただいております。基本的には、新居浜市環境保全基金の方へ寄附という形で活用しております。

(イオン)

私どもも、レジ袋の代金から必要経費を差し引いたものにつきましては、新居浜市の環境保全基金の方へ寄附させていただいておりますので、今後も引き続きこのような形で取り組んでまいります。

(マックスバリュ)

今までと変わらない形（新居浜市環境保全基金への寄附）で続けていけたらと考えております。

(ママイ)

昨年度につきましては、私どもも新居浜市環境保全基金の方へ寄付させていただいたのですけれども、現状、社内的に今の活動を大きく見直しさせていただきたいということで、事前にごみ減量課の方へお話しさせていただいたと思うのですが、弊社といたしましては、サービスを変えて行きたい。当然、レジ袋の削減に関する推進は今まで通り行います。推進方法も今まではスタンプ形式で20個たまって値引き、という形にしていましたが、今後、見直しとともに全店で、マイバッグ持参の方にはいち精算時に値引き、という形で推進運動には積極的に取り組んでまいりたいと考えております。新居浜地区におきましては、今度改装いたしますフレッシュバリュー新居浜店等につきましても、協定に参加していない会社様に囲まれているという環境等を踏まえて、大きく見直しをかけて行きたいということで話はさせていただいております。この活動自体に対しては賛成いたしておりますが、激戦区の中で会社としての活動を行って行く上で見直しは必要であろうと考えておまして、この2番の項目につきましては、現在見直しで進めて行っております。

(会長)

環境保全活動への活用とか、レジ袋販売での収益についてはどのように考えておられますか。

(ママイ)

寄附等につきましては、今後も前向きに考えてまいります。

(コープえひめ)

すみません。少し勘違いいたしておりました。私どもも、環境保全基金へ昨年も全部寄付させていただいております、今年度もその方向で活用させていただきたいと考えております。

(会長)

各社さんそれぞれ環境保全活動への活用ということで取り組みさせていただいております。また、寄附ということで、市の中の環境活動で使わせていただけるということであれば、環境保全基金の方へご寄附いただければと思いますので、よろしく願いいたします。先ほど、木村チェーンさん、ママイさんにおいてそれぞれ見直しを検討中ということでしたが、木村チェーンさんにつきましては、昨年川東店で取り組まれたお客さんからの寄附という形、善意で代金を入れていただくというような方法、これを全店舗で行っていきたいというお話でございました。ママイさんの方で、今何か考えておられることはございますか。

(ママイ)

弊社としては、リニューアルいたしますフレッシュバリュー新居浜店のリニューアルオープンに合わせて、全店でレジ袋を無料で提供させていただくということを案として検討させていただいております。ただし、今までのようにマイバッグを持参いただいたお客さまに対しましては、会計時に値引きさせていただくことを予定しております。

(会長)

他の4事業者さんのお考えをお伺いしたいのですが。

(コープえひめ)

特に、今後どうするかということを中心に内部的に検討はいたしておりません。今のまま継続するというのですが、ただ、そういう風なご意見があったということについては、会社の方へ持ち帰って協議したいと思います。

(フジ)

ママイさんのお話をお伺いして、ママイ全店ということになるとかなり影響が大きいと思います。新居浜市内でマルナカさん、マルヨシさん、ママイさんという形になると非常に厳しい状況になります。マルナカさんがイオンさんのグループになるということで、直ぐには難しいと思うのですが、イオンさんは方針としてレジ袋削減に取り組んでおられますよね。

(イオン)

会社としては環境保全活動に力を入れておりますが、マルナカさんにつきましては、イオンが株式を取得して子会社化するということですが、なるともならないとも今の段階では何とも言えません。

(フジ)

協定でレジ袋の無料配布中止を行っていたスーパーがどんどん抜けて行って、全国的に話題になったところがあったのですが、新居浜市の場合も店舗の多いマルナカさん、マルヨシさんが参加されていなかったという点で、スタートから無理があったとは思いますが。他の地区においてもマルナカさんの影響が大きいところではうまく進んでいなかったりとか、どうしても参加いただけないところがあったりして上手く進んでいないようです。当社といたしましては、愛媛の企業としてやっていきたいとは思いますが、営業の方から、今後見直しのお話が出てくる可能性はあると思います。

(会長)

先ほどマルナカさんの話が出たのですが、イオンさんと資本提携する新聞報道があった翌日に新居浜店の方へ部長さんをお尋ねしたのですが、イオンさんがおっしゃったように、今すぐ経営方針が変わるところまではわからない、とのことでした。11月の正式な調印と言いますか、それ以降にそういったことも話し合いがあるのではないかとということで、現時点ではわからないとのことでした。我々もイオンさんと同じような方向で進んでいただければというような気持ちも持ってお願いもしてきたのですが、そういった状況でございました。

(ママイ)

フジさんも、木村チェーンさんも、私どももそうなのですが、結局のところ問題になっているのは足並みが揃っていないということで、そのことをどうにかしていただければと思います。

(イオン)

イオンリテールとしては、それぞれの地域で様々な取り組み方法で環境活動に取り組んでいますが、新居浜地区に関しましては継続して行くことになると思います。先ほどマルナカさんの話でしたが、マルナカさんがどのような対応をされるかは全くわかりませんし、足並みが揃っていないというのは事実ですが、今現在参加されている事業者さんで継続できれば、と考えております。

(ママイ)

現時点では、明確にいつから、というのはわかっていないですね。私どももたちまちリニューアルオープンを抑えておまして、こちらの方で混雑するという状況も考えられますので、例えば、いつから足並みが揃う、ということであれば、その時期に合わせて無料配布中止を再スタートするというのもひとつの手ではないかと思うのですが、初めは、急に全店で無料配布中止を止めるということではなくて、リニューアルオープンする新居浜店だけという対応も可能かと思えます。私どもも今まで無料配布中止を実施してきましたので、バランスを取って行きたいと思っております。ただ、社内の調整等も含めまして検討させていただきたいと思っております。マルナカさんもイオングループとなり、レジ袋の無料配布中止を実施されるであろうと思っておりますが、段階があると思えます。その期間を待つこととなるのですが、その期間が長くなればなるほど私どものバランスのとり方も違ってきますし、マルナカさんが参加されて初めてマルヨシさんがどうされるか、ということになると思っております。足並みが揃うのであれば再検討は確実にさせていただくのですが。

(マックスバリュ)

当店もレジ袋の無料配布中止を止める、ということはもちろん私の判断ではできませんし会社の方へ持ち帰って話をいたしますが、ママイさんのおっしゃられることも理解できます。1円でも売り上げを伸ばすためにどうすればいいか、競争が激しい中で日々考えておりますので仕方ないと思います。

(会長)

新居浜市といたしましては選択肢と言いますか、レジ袋の無料配布中止を現在の協定方式のまま継続するということがひとつ、それと、その他の無料配布しないやり方、見直しとなると思うのですが、無料配布中止ではなくてポイント制にするとか、なども考えられます。もうひとつは昨年提案させていただいた条例化がございます。これは一定規模の事業者さん、スーパーさん以外の事業者さん、ドラッグストアさん、そういった事業者さんにもレジ袋の削減目標を立てていただいて配布枚数を報告していただく。そういったことを条例化して皆さんにやっていただく。そういう方法もあると思います。そういった選択の中で、今後もう少し詰めて行かなければならないと考えております。本日、そのことについて結論を出すのは難しいと思いますので、日を改めて意見をおうかがいさせていただけたらと思います。たちまち現時点におきましては、せつかくここまで実施してきて90%に近い数字が出ている中、事業者さんに協力いただいて市民の皆さんにも定着してきているので、何とか現在の協定を存続して行きたいと考えております。先ほど木村チェーンさんがおっしゃられた市民の善意と言いますか、環境活動へ役立てるという意味でいくらかでも寄附していただくということも、ひとつの無料配布中止という協定の中で包含できたら、これで続けて行っていただければそれだけでもひとつの方法であると認識しておりますので、もう一度各社さんでそういったこともご検討いただいて、ご意見をお伺いできればと考えております。

(ママイ)

今までの7回の会の中であつたと思うのですが、ごみ袋の指定袋化も必要であると思います。どうしても上部地区など見てみましても、マルナカさん、マルヨシさんのレジ袋がほとんど出ている。現実にレジ袋がごみ袋で使えるという部分も影響があると思います。そういう中で、弊社も上部地区に3店舗をかまえておりますので、大生院地区になりますと西条地区とも競合しそちらへの出店もございます。前向きに協力はさせていただくのですが、本来の事業活動に支障があるとなかなか困難な部分がございます。

(会長)

レジ袋の削減活動が事業者さん本来の事業活動に支障があるようでは、継続はなかなか難しいと思いますので、その辺りは色々な方法を検討して良い方向へ進んで行けるよ

うに考えなければならないと思います。

(ママイ)

一度に全部ではなく、オープン期間中だけ無料配布してもよいかなど、こちらの方としても柔軟に対応できる部分もあるとは思いますが、どうしてもオープン期間中はマイバッグ等でレジの通過時間が長くなってお客さまに迷惑がかかる可能性がございますので。オープンは12月を予定しておりますけれども、やはりサービス業としてお客さまにご迷惑をおかけすることはできませんので。今後の対応につきましては、協議会の中で意見交換をさせていただきたいと考えております。

(環境市民会議)

せっかく3年前に協定を結んでいただいて、マイバッグ運動を進めてこんなにたくさんの方に入っていたのに、全ての足並みが揃わなかったことについて違和感をずっと持ちながら来た訳ですが、環境保全、地球温暖化防止と言いましても目に見えないのですが、本当に一番のターゲットである毎日買い物へ行く主婦一人ひとりの力というのは多大な効果を示していると思いつつ、私も主婦として、一市民としてマイバッグを持って行くのが本当に当たり前になってきて、他の色んなお店に行きましても皆さんマイバッグを持っているのですけれども、私がちよっと耳にしたのが、マイバッグで万引きが増えて売りに影響している、というのを聞きまして、なんて人というのはモラルがないのだろう、本当に小さいスーパーだったら経営として死活問題になってくると思うのですが。そして、レジ袋がもらえるところへお客さまがたくさん行っている。果たして本当にお客さんが流れているのだろうかと思う時もあるのですが、私はあそこのお魚、ここのお肉と決めたらそこへ買い物に行きますので。せっかく協定を結ばれてここまでやってきたので、止めるのは本当に簡単だと思います。あるお店は色んな工夫をして、買い物かごの色を変えているところもあります。ですから色々な問題は起こってないでしょうか。マイバッグにそのまま商品を入れてお店を出たら、お客さまの袋の中を一つひとつ確認することもできないし、本当にそれぞれのお店の苦勞も理解しなければならないと感じております。その上に、人間教育ではありませんが、道徳教育をどのようにしていったらいいのだろうか、何のためにマイバッグ運動をやっているのだろうか、本当に情けなくなるときがあります。でも80%以上の方が環境のためにマイバッグを持参くださっておりますので、毎日毎日の積み重ねが大切だと感じております。

(会長)

マイバッグでお買い物をする際のルール作り、そういったものを新居浜市としても啓発して浸透させていかなければならないと感じております。

(ママイ)

店内のカゴをそのまま持ち帰られる方が増えています。当然商品としてのマイカゴはご用意させていただいておりますが、店内で使用するショッピング用のカゴの持ち帰りによって非常に減っております。見かけたらお声掛けはさせていただいておりますが、そのまま車に積まれますので。そうなりますと、商品をご購入いただいているのかどうかもわかりませんので。マイカゴでお買い物いただいたお客さまにつきましては、お買い上げシールも貼らせていただいておりますが、本当にカゴの買い足しの経費も増えてきております。

(木村)

私どものところもかなりカゴは減っています。特に今年の春以降かなり買い足しました。また、カゴの中にマイバッグを広げてお買い物をされる場合もあり、実際にはお買い上げいただいているかどうか判断がつかないとか、声掛けが難しいとか、かなりそういった部分に神経を使います。また、万引きなどの検挙率も高くなっておりまして、検挙率ですので半分はうれしい話なのですが。ただ、我々もレジ袋をどうやって減らしていくのかという部分で、入口出口に大きなものから小さなものまで段ボールの空き箱をかなり用意して、お客さまに利用いただくというようなことは行っております。

(消費者友の会)

「カゴを店外に持ち出さないでください。」とか、注意書きをしていますか。

(木村)

書いておりますし、店内放送等も実施いたしましたが、店内カゴを持ち帰られる方は「明日また買い物に来るからいいでしょ。」という感覚があるのではないかと感じております。

(フジ)

それは新居浜だけではなくて他の地区でもある話で、特にレジ袋の無料配布を実施した地区では若干そのような傾向にあるようです。あと、レジの後ろにあるロールのナイロン袋の消費量が増えます。それは、マイバッグが汚れないように小分けのナイロン袋を使う、というのがあろうと思うのですが。先ほどママイさんが言われた、市の指定ごみ袋でごみを出すことなのですが、新居浜市での協定のときにも懸念していたのですが、市の指定、若しくは有料のごみ袋がないところでレジ袋無料配布中止の協定を締結する

のは新居浜が初めてと言われていたのですが、そういう部分が非常に大きいですね。他の地区では、指定のごみ袋が 20 円とか、高いところでは 150 円とか指定のごみ袋があるのですが、新居浜の場合はレジ袋でもごみ出しができますので。私どもが出店しているところで、レジ袋でごみ出しができることはありません。その辺の影響というのが大きいのではないかと思います。ですから有料という反対があるのかもしれませんが、少なくとも指定袋という形で、レジ袋は使えないよ、という形にさせていただいたら非常にやりやすくなると思います。結果的にはごみ出しにビニール袋を使うのだからごみ減量にはならないだろ、というように言われたらそれはそうかもしれませんが。

(消費者友の会)

やはり新居浜市が指定のごみ袋を作れば大きく変わってくると思います。ですからその辺を私たちが理解して、市の方も市長の公約だとか何とか色々ありましたけれども、指定の袋にすれば今言ったような色んな細かな問題というのは出てこなくなるのではないかと思います。一度皆さんで協議しないと、この問題はいつまで行っても平行線で、今の厳しい時期に商品が売れなければ困りますしお店側の立場もわかりますし。

(会長)

ごみ袋の指定袋制につきましては、有料化に直結するようなイメージを持たれますので、その辺をもう少し違う感覚で議論できればと思うのですが、市も一度有料化を立ち上げて市民のみなさんへ説明しておりますから、その辺りのイメージがあると思います。行政といたしましては、指定袋制、または条例化というようなことを検討課題として今後も引き続き皆さんのご意見をお伺いしながら進めて行きたいと思います。

(マックスバリュ)

私も単身赴任で来ているのですが、ごみを捨てに行ったらママイさんのおっしゃるとおり無料配布しているスーパーのレジ袋が目立ちます。いつだったか、マナーが悪いので「ごみステーションを使えなくします」というポスターが貼られて、そもそもごみ袋が指定されていないから大小様々な袋で捨てられるので。私の実家では指定のごみ袋でしかごみが捨てられないから、そんなにごみステーションが汚れることはありません。ごみ袋を指定袋化、有料化することによって色々な問題が解決するかもしれません。この協議会だけでごみ袋を有料化するとかしないとか議論するだけではなく、ごみステーションをきれいにするとか様々な問題と一緒に議論して行けば解決する道が見つかるのではないかと思います。

(環境市民会議)

私も泉川なのですが、レジ袋がないからといって売り上げはどうなのですか、本当

にかなり下がっているのでしょうか。確かに皆さんのところが下がっているから、逆に言ったらマルナカさん、マルヨシさんの売上げが上がっているのか、そうは思えないようなところもあるのですが実際のところはどうなのでしょう。特にママイさんは競合される地区に店舗があると思うのですが。

(ママイ)

数字のことなので大まかにしか言えませんが、落ち幅の違いです。

(環境市民会議)

マルナカさん、マルヨシさんはその分だけ実際に上がっているのでしょうか。レジ袋があるからマルナカさん、マルヨシさんへ行くというのは、多少何人かはおられると思いますが、大半がそこまで流れているようには思えないところもございます我々男性が買い物に行く場合に、はっきり言いましてマイバッグを持っていこうという感覚は難しいと思います。主婦の方にはマイバッグが浸透していると思いますので、レジ袋もらえるからマルナカへ行こう、という感覚はあるのかなと思います。

(ママイ)

先にご説明いただいた、マイバッグ推進キャンペーンの実施結果、これを見たらマルナカさん、マルヨシさん当然ながら非常に持参率は低くなっております。この辺りもおっしゃられているところの結果の一部ではないかと思うのですが、方や80～90%、方や一桁台です。この辺りにもそのようなことは出ているのではないかと思います。

(環境市民会議)

それが出ているのであれば、行政がもっと働き掛けをしないと足並みが揃うということはずなないと思います。東京の町田市、新潟県など他の地域で成功しているのだから、逆に言うと新居浜市でも成功しないはずはない、と思います。もう少し、条例なりで行政がぐっと入り込んで行けば、マルナカさん、マルヨシさんがやらざるを得ないような状況を作ればいいのか、という感覚もあります。確かに無料配布中止を行っている方が不利と言えれば不利であると思います。主婦の方は、少しでも安いところへ行こうという感覚になるかもしれませんが、男性の感覚で言うと、少しでも安いスーパーへ行こうという方はほとんどいらっしゃらないと思います。実際のところはどうなのかな、と思ひましてちょっと聞いてみたのですが。

(ママイ)

先ほどから色々とお話が出ているのですが、私は香川県に住んでおりまして指定ごみ袋になっているのですが、妻が買い物をしているのを見ておりまして、レジ袋というの

は指定ごみ袋ではない所に住んでいる方にとっては、ごみ袋として出しやすいので非常に便利なものだと思うのですが、逆に指定ごみ袋になっている地域に住まれている方にとってはごみが増えるだけだと思います。ですから指定ごみ袋にすれば、レジ袋で買い物したらごみを余分に持ち帰るというような意識に変わってくるのではないかと思います。

(フジ)

ママイさんが言われたとおりで、もともと指定ごみ袋があるところはマイバッグの持参率が高くなっておりまして、そうじゃない所はもともと低い。先ほどから新居浜市が指定袋にすればとの意見が出ておりますが、新居浜市だけの取り組みではきついと思います。ママイさんも言われましたが、せめて西条市、四国中央市も含めて東予地区エリアとして取り組まないと厳しいと思います。私は山口県でレジ袋の協議会に参加させていただいたのですが、最初は参加しないという企業もあったのですが、県がまとめてやりましたので最終的にはほぼ全てのスーパーが参加し、そのうちドラッグストアが入ってきて、クリーニング店が入ってきて今のような形になっています。もともとごみ袋が指定されているので、そのような土壌、レジ袋をもらっても仕方がないという、持って帰ってもごみになるだけというようなことがまずひとつ。それと広域で推進したということと二つあって、当たり前のように受け入れられたのではないかと考えています。新居浜の場合は二つともありませんので非常に厳しい。おまけに足並みが揃っていないので余計に厳しい。ですから条件が悪いので参加していない、というのがあると思います。広島県の場合は、全部参加されていてもマルナカさんは参加されていない、というのは実際あるのですが、それはそれで会社の考え方ということでしかないのですけれど。少なくともレジ袋の削減活動をやりやすい環境を作って行かなければ厳しいです。私も新居浜は厳しいから何とかして欲しい、との声が出たこともあるのですが、会社の方針として今年オープンした店舗でも事前に告知をしたり、無料対応という形で「忘れた方にはマイバッグをお貸しします。」という形で配布したり、マイバッグを割引して販売したりという形で対応はいたしました。マックスバリュさんも新店舗のオープンときには相当告知されておりましたし、そういう他の地区にはない苦労というのはあります。また、広域からお客様を呼びたいときなど、隣の街からこられたら「何で」ということになりますので、新居浜市だけではなくてエリア的に広がって行けば、というのがひとつの要望と先ほど言ったごみ袋の指定と両方あればもっとやりやすいし広がりやすいと思います。なかなかそれを新居浜市さんにもお願いしても難しい部分はあるのですが、ごみ袋の方はどうにかならないかと思っております。

(ママイ)

レジ袋の無料配布中止を継続して行くのであれば、ごみ袋の指定を考えていただいた

方がいいと思います。非常に良いことをしているというのは、市民の皆さんにご理解いただいていると思いますので。

(会長)

90%に届くようなマイバッグの持参率になっておりますので、これを持続させていくためには事業者さんだけにご負担をお掛けする訳にはいきませんので、その辺りは行政も次の対策を考えて行かなければならないと思っております。ごみ袋の指定と後は条例化、この二つは検討課題として今後進めて行きたいと思っております。それと、協議会としての協定の継続と言いますか、その辺のこともどのような形にするかということもございまして、その件につきましては再度、できましたら来月の下旬あたりでもう一度協議会を開催させていただけたらと思うのですがいかがでしょうか。一度社内協議もお願いできればと思いますので。

(ママイ)

11月の下旬であれば、改装するフレッシュバリューの対応方法も決まっていると思っておりますので、それまでにフレッシュバリューだけのイレギュラー的な対応で可能かどうかとか、一度に全店というところも影響も大きいと思っておりますので社内で検討させていただきたいと思っております。

(環境市民会議)

事業者の方だけに負担を掛けるのではなくて、行政も市民も皆が負担して行くようなことで前へ進んで行く方法がないか検討する必要があると思っております。

(会長)

日程なのですが、11月30日辺りはどうでしょうか。12月に入るよりは11月の方が都合はよろしいですかね。28日の月曜日はどうでしょうか。28日の午後の2時、本日の開催時間でよろしければお願いしたいのですが。

承認を得る

そうしましたら11月28日(月)の午後2時から開催させていただきたいと思っております。また、社内での検討内容もその時に聞かせていただいて、今後の方向性を決めて行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。それでは、平成24年度のレジ袋無料配布中止キャンペーン活動の案につきまして事務局から説明させていただきます。

(事務局)

平成24年度活動案について説明

(会長)

キャンペーンの方も3年目ということで、事務局の方から案1と、案2として毎月1日を「ごみ減量デー」としてキャンペーンを行うというような内容でした。引き続き市民団体の方々にもご協力をいただくこととなりますが、これらにつきましてご意見はございませんでしょうか。

(コープえひめ)

今は流動的な要素がございますので、次回に他の件と併せて協議させていただけたらと思います。キャンペーンを実施することにつきましては積極的に関わらせていただきたいと考えております。

(会長)

来年度も新居浜市地球高温化対策地域協議会の方で、マイバッグ持参推進キャンペーンを行う予定で予算化等も進めておまして、例年のレジ袋削減推進協議会のキャンペーンと併せて10月に実施する方向で検討いただいております。

(フジ)

毎月のごみ減量デーは広島を参考にして、とのことですが、広島の場合は10何年間ずっと活動してきて、レジ袋の有料化を機に「ごみ減量デー」として活動しているものですので、新居浜市でいきなり初めてどうなのかな、という感じはします。あと、レジ袋削減活動案のところ、私たちレジ袋の無料配布中止をやっているお店に呼び掛けて何をしようとするのか、という部分がございます。定着していない時期は、定着させることが目的ですので効果があったと思うのですが、今は3年目に入って、マイバッグの持参をわかって来店されている方がほとんどです。また、その方々がレジ袋を購入される場合は、何らかの必要性があつて購入されていると思いますので。実際に始まってから2年目、3年目になるとどこの地区でも、マイバッグの持参率は2～3%下がっています。これは購入することに抵抗が無くなった、ということがひとつ、必要な時には購入する、5円だったら必要だから買う、という方がおられるようです。目的はごみの減量というところであつて、レジ袋自体を減らすというものではないと思います。レジ袋を出す量を減らすというよりも、無駄に捨てられる、ごみとして捨てられるレジ袋を減らすことができればいいと思いますので。そう意味では、やっている所で活動するよりは、やっていない所で活動する方が、効果があると思います。私どもにメリ

ットはありませんが、どうせやるのであれば、やっていない所ですの方が本来の目的のためには効果があるのではないのでしょうか。私どもの活動の広報のためには、市民の方へ協力を呼び掛けるとか、それぞれエリアで考えて啓発活動を考えていただいた方が私どもとしましても活動を継続しやすいのかな、と思います。月1回の「ごみ減量デー」よりは、そのような活動をしていただいた方がいいと思います。一部のお客さまだと思いますが、レジ袋の削減に協力している各店からお客さまが3%ずつ減っていったら、かなりしんどい部分があると思います。週2回の特売日が週1回になってしまう可能性も無いとは言いきれません。そういった面で影響が出続けているという部分があると思います。今は景気の部分で、海外との関係や老後のこと、収入が上がらないとか皆さん色々な不安要素を抱えておりますので、今までのように、安くしたからといって商品を買ってくれる訳ではございません。ですから、ごみ袋を買うのはもったいないからレジ袋をもらえるお店へ変えよう、という可能性もゼロではありません。そういう方もおられる中で、理解を得てもらうための活動というのはどういったものか私にも分からない、というのが正直なところですが、活動している店舗で積極的にキャンペーンをすることがそれを打開するかというと少し疑問があります。活動の初期と今現在では、キャンペーン自体の目的が変わってこなければいけないと考えています。

(イオン)

毎月1日と決めなくても、毎月どこかで、あまり活動に積極的ではない所でやるとか、一番お客さんが多い時間帯や曜日に活動されていないお店でやられた方が、効果があるのではないかなと思います。前任者から引き継いだのですが、買い物袋を持たれていないお客様は夕方が多いようです。ですから夕方、土日祝日に毎月されたらどうかと思います。

(マックスバリュ)

マルナカさん、マルヨシさんがある地域は集中的に実施するとか、90%近い持参率があるところで更にお金と時間を掛けるよりは、ママイさんのリニューアルオープンに合わせて、そのエリアで行った方が、今まで3年間活動してきた意味があるのではないかと思います。

(ママイ)

皆さんにフォローしていただいたので、上部地区、川東地区でキャンペーンを行っていただけたらと思います。レジ袋の無料配布中止を実施いただけない店舗を併せますと、マイバッグ等の持参率がかなり下がる地区になりますので、そのような地区で啓発活動を実施していただけたらと思います。それと夕方持参率が低いというのは、仕事

帰りにちょっと買い物をするときマイバッグを忘れることがあると思いますので、そういう時間帯、また6事業者以外のお店での啓発活動をしていただく方がプラスになると思います。

(会長)

10月にマルナカさん、マルヨシさんにはご了解いただきまして、キャンペーンをやらせていただきましたが、マイバッグ等の持参率は資料のとおりでございましてかなり低い数字となっております。啓発活動につきましては時間帯も考えまして実施して行きたいと思います。また、ドラッグストアさんへもポスターやのぼりを貼らせていただいておりますので、継続してお願いしてまいりたいと考えております。

(消費者友の会)

先ほど毎月1日は忙しいから難しい、というお話でしたが、皆さんに覚えていただくには、この日はマイバッグ持参デー、ごみ減量デーという風に決めた方が浸透はするのではないかと思います。

(ママイ)

弊社は、5日はママイの日と決めておりますが、事業者さんごとにそれぞれ打ち出し日というものがございまして、そこに1日は、と入ってくると企業ごとの打ち出し日がぼけてくる可能性がございまして、ですから、そこは市の広報としていただいた方がいいと思います。

(環境市民会議)

私もキャンペーン活動で感じたのですが、入口の登りだけでは目立たないと思います。実際にマイバッグ等の持参率が90%近いところでキャンペーン活動をして、既にマイバッグを持参して下さっているお客さまですので、持参率が低いところでやらせていただいた方が、効果があると思います。

(事務局)

大々的に、ということになりますとお店の意向がございまして、その辺りも確認させていただきながらの実施になります。

(環境市民会議)

今年もキャンペーンをしていて感じたのですが、ママイさんの5日とか、それぞれ事業者さんの売り出し日に合わせて実施させていただいた方が、私たちキャンペーンをする方もやりがいがあるので、それとマルナカさん、マルヨシさん、レディ薬局さんとか

まだ協定いただいていない所へもキャンペーンに行っているのでしょうか。実施の許可はいただいているのですね。

(会長)

10月に地球高温化対策地域協議会で実施した啓発活動におきましては、マルナカさん、マルヨシさんにしかキャンペーンの了解は得られませんでした。ただ、のぼりやポスターにつきましては了解いただけたところは多くございます。

(環境市民会議)

レジ袋無料配布中止に参加いただいていない所でもキャンペーンに参加いただけるように働きかけていただきたいと思います。

(会長)

行政も努力してまいりたいと思います。

(ママイ)

行政として市民の方々に告知するのであれば、主要幹線道路沿いにのぼりを立てるのが効果的だと思います。交通安全週間等に見かけると思いますが、車を運転していて5本くらい続きますと頭に入ってきます。浸透させるという意味では、主要幹線道路へののぼりの設置は効果的だと思います。ただ連続で5本以上は設置する必要があると思います。

(環境市民会議)

太鼓祭りののぼりがあれだけできるのだから、レジ袋ののぼりもできると思います。選挙なんかでも幹線道路に看板等があると、その方のイメージが付きます。

(会長)

大変貴重なご意見をありがとうございました。検討してまいりたいと思います。それでは、24年度の案につきましてはもう一度再考させていただいて、28日にご提案させていただけたらと思います。その他何かご意見はございませんでしょうか。

特に意見なし

それでは、第8回の新居浜市レジ袋削減推進協議会を閉会いたします。次回は11月28日の月曜日の14時から開催したいと思いますので、ご参加のほどよろしくお願いたします。本日は、お忙しいところ長時間にわたりましてありがとうございました。